



## 頑張る人が報われる福山！

デザイン B v7

皆様からのチェックと応援に支えられ、福山市議会議員として2026年4月末をもって任期の2年目を終えます。政党に所属せず、特定の団体の支援を受けず、誰かの地盤を受け継がず、市民目線とビジネス目線を大切に、議会活動に邁進してまいります。「あなたに届く政治」をテーマに、行政の動きや議会の状況をHP、Facebook、Instagram、X、YouTubeなどを活用して情報発信いたします。問い合わせは365日対応しております。いつでもご連絡ください！

### 福山市の2026年度重点政策について

福山市の2026年度（令和8年度）重点政策を含めた予算が2026年3月の福山市議会承認されました。予算のテーマとしては「希望・安心・活力あふれる未来への挑戦予算」と位置付けられており、人口減少や若者・女性の転出超過が続く中、将来の都市力を左右する課題への対応を目的とした重点事業を中心に、一般会計の当初予算額は2,077億円であり、特別会計・企業会計を含めた総額は3,974億3,743万2,000円となっています。

特に力が注がれているのが少子化対策で、約147億円を投じ「福山版少子化対策」を推進します。小学校給食費の完全無償化（2026年4月開始）、子ども医療費助成の高校生年代までの拡充、第1子の保育料引き下げに向けた検討など、子育て世帯の経済的負担の軽減、一般不妊治療補助拡充などを進めてまいります。また、市民病院に周産期母子医療センターを新設するなど、出産・医療体制の強化も図ります。

このほか、若者や女性に選ばれる都市づくり（約49億円）として、福山市立大学情報工学部の開設準備やAI人材育成事業、企業の働き方改革支援などを推進。さらに、安心な市民生活と地域経済の実現に約123億円を配分し、防災対策や地域交通の充実、産業振興にも取り組みます。人口減少時代を見据え、福山の未来を形づくる重要な施策が動き出します。

### 行政報告 一般不妊治療補助の拡大が実現！

少子高齢化は福山市に限らず、全国の自治体が直面する課題です。子どもを望む方が、望んだときに安心して踏み出せるまちであってほしい。その思いから、2025年3月11日の予算特別委員会、そして同年6月の一般質問で、一般不妊治療補助について質疑と要望を行いました。背景には、福山市の支援内容が近隣自治体と比べて手薄であるという認識がありました。

今回、その一般不妊治療補助について大きな見直しが示されました。対象年齢の制限は撤廃され、年齢不問に。助成上限額は最大2万5千円/年から最大5万円/年へと拡充され、予算額も231万円から1,046万円へと4.53倍に増額されました。

### 一般不妊治療補助 上限額 対象 枠が拡大の方針に

令和7年 2025年度	令和8年 2026年度(案)
対象年齢 35歳以上	制限撤廃 年齢不問に
最大25,000円/年	最大50,000円/年
予算総額 231万円	1,046万円 (4.5倍)

未来を担う子育て世代への支援を大幅強化!

※助成額は年齢や県制度との併用条件により異なり、最大5万円/年となります。

議事録の内容はこちら▶

【テーマ】

- ① より働きやすく、より信頼される市役所に向けて
- ② 未来を担う世代への切れ目ない支援について

----- ①のテーマについて抜粋 -----

質問

福山市職員の過去3年間における懲戒処分の件数とその内訳、傾向と、不祥事が発生した際の処分対応に加えて、再発防止に向けた組織的な取り組みや具体策、成果を教えてください。

枝広直幹市長

懲戒処分は、2022年度から3年間で8件、そのうち職務に関連するものが4件、関連しないものが4件。被処分者は9人、処分内容は、免職3人、停職3人、減給2人、戒告1人となっています。再発防止策として、法令遵守を含む公務員倫理に関する職場研修などにより、服務規律の確保に努めています。

質問

福山市における会計年度任用職員（1年ごとに契約を更新する非常勤職員のようなもの）の人数とその推移について、過去3年間の状況を教えてください。人数の増加とともに、福山市として、課題意識はあるか？また、会計年度任用職員の方々から、不安や不満な声や要望などは届いていますか。

枝広直幹市長

会計年度任用職員の3月末時点の人数は、2022年度が3,121人、以降、2023年度3,206人、2024年度3,149人です。

総務部長兼デジタル化担当部長兼選挙管理委員会事務局参与  
岩崎雅宣

次年度以降の就業の意向確認をする際などに、所属長が面談を行ったり、職場に対する思いなどを聞いている。そうした中で、特に総務部として職場のほうと連携をして行わないといけないというようなことは、現時点で私のところでは把握していませんが、それぞれの職場の中においては、業務に関係することだけでなく、職場内の人間関係とかについても所属長、管理職や監督職を中心にその改善に向けて取り組んでいただき、これは会計年度任用職員に限らず、正規職員も含めまして、働きやすい職場環境の整備ということにそれぞれの部局で努めているところです。

要望

不安な声は人事部や総務部には届いていないということですが、面談でヒアリングなどを部署ごとに、人ごとにしていただくことを要望します。自分の不満の声を聞いてもらえる場所がないという声も聞いています。ぜひフルタイム同等、特に貢献していただいている方々には、そういった声を聞く場を要望させていただきます。



【テーマ】

- ① 子ども未来館について
- ② 福山駅前のまちづくりについて

----- ①のテーマについて抜粋 -----

質問

大阪・関西万博のパビリオンである「いのちの遊び場クラゲ館」クラゲ館の移築は5億円を超える大きな投資です。子ども未来館へクラゲ館の膜屋根と創造の木を移築することの狙いや、STEAM教育（科学・技術・工学・芸術・数学を横断して学ぶ教育）の理念とどのように結びつくのか、見解をお示しください。

枝広直幹市長

未来館とクラゲ館は、STEAM教育の視点を取り入れ、子どもの創造力を育むという点で親和性が高い施設と考えています。移築が実現すれば、自然の光や風を最大限生かした環境負荷の少ない空間で、遊びと学び、創造を体験できる場、多世代が交流できる場として活用していただきたいと考えています。

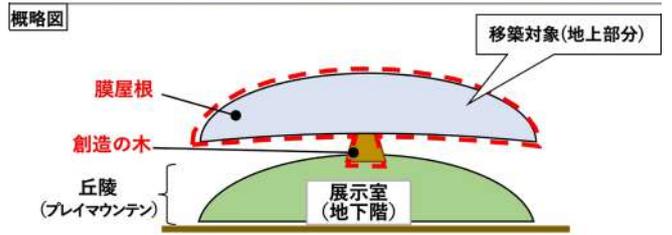
質問

大阪・関西万博のパビリオンは多くがリユースを前提に構成されていますが、様々な選択肢がある中で、このクラゲ館を選定した理由をお示しください。クラゲ館の膜屋根と創造の木のみが対象となる理由は何でしょうか。

保育施設担当部長兼企画政策部参与 神原明子

クラゲ館の選定に当たっては、民間活力導入可能性調査や外部有識者で構成される検討委員会での意見を踏まえて総合的に判断しました。親和性のほか、維持管理面やリユース面も考慮しています。

クラゲ館は「揺らぎのある遊び」をテーマとしており、その象徴がクラゲです。そのクラゲを最も表現しているのが膜屋根であり、また、子どもの創造性を育むことを象徴するのが創造の木であると考えています。



議事録

映像配信

2025年6月18日  
福山市議会本会議一般質問



2025年9月17日  
福山市議会本会議一般質問

議事録

映像配信



## 【テーマ】

- ① 福山市の転出超過に対する取り組みについて
- ② 福山駅前のまちづくりについて

-----①のテーマについて抜粋-----

## 質問

2025年10月27日の東洋経済オンラインの記事で、福山市は転出超過自治体で全国2位という厳しい状況が明らかになりました。総務省の住民基本台帳人口移動報告では、1年間で2,935人の転出超過となっています。この事実について、福山市としての受け止めをお聞かせください。

## 枝広直幹市長

一部報道の2,935人という数値は、国内移動のみを対象としており、技能実習生など国外からの転入が反映されていません。福山市は中核市の中でも監理団体が多く、国外からの転入者数がカウントされていないため、見かけ上転出超過数が大きく増幅されています。

## 企画政策部長 小畑佳代

転出超過につきましては、特に若者、女性の転出超過が顕著という中で、まずは学びと、それから仕事の選択肢を充実させていくこと、そしてまちのにぎわいの創出、また子育てしやすい環境整備、そうしたことを対策の柱として取り組む必要があると考えております。

## 質問

2027年4月開設予定の情報工学部について、創設の意義や目的を教えてください。

## 総務部長選挙管理委員会事務局参与 岩崎雅宣

福山市には多様なものづくり企業があり、理工系人材を望む声が産業界を中心に多くあります。情報工学部はデジタル人材を育成し、市内企業の成長の原動力となることを期待しています。また、福山市には理系学部を有する国公立大学がないため、福山市外へ進学している高校生の流出抑制も期待しています。

## 提案

福山市が誇る企業のエース級の人材などを、例えば特任教授として巻き込み、先進的な取り組みを学生に学んでいただけるような仕組みを検討していただきたいと考えています。



完成イメージ

## 【テーマ】

- ① 福山駅前再整備について
- ② エフピコ RiM 2階の活用について

## 質問

福山駅前再整備の基本計画案について、すでに方向性が固まっている事項と、今後の議論や調整に委ねられる部分について、確定部分と、可変部分を整理し、明確にご説明ください。

## 枝広直幹市長

バス乗降場を現在の位置に縮小して配置する整備案をベースとします。観光バスや送迎バスは北口広場に集約配置します。

## 質問

今後市民の皆様へ周知と理解、そして参画者になっていただくためにも、福山駅前再整備の基本計画案とともに、広場がなぜ必要か、交通結節点がどうなるかなど、根拠やデータをもって説明する場が必要と考えます。市民の皆様へはどのように巻き込んでいきますか？

## 福山駅周辺再生推進部長 村上正人

今後は3月中に説明会を予定しているほか、パブリックコメントの実施も検討しております。



◀福山駅北口ロータリーの混雑状況について、2025年12月議会に続き、2026年3月議会でも改善を訴えました。福山市は暫定的な対応として、2026年3月13日深夜に送迎場入口、駐車場への入口、駐停車禁止のラインを引いてくださいました。

## 質問

エフピコ RiM に関して、1階の契約期間が2029年4月30日までに対し、2階は2028年4月からの活用開始を目指しており、重複期間は1年1ヶ月と、契約終了時期に差異が生じております。この差異に対する認識と、今後の対応について見解をお示ください。

## 枝広直幹市長

1、2階の契約時期の違いについては、1階の活用を2029年5月以降も継続することで、1、2階の連携に支障がないよう対応してまいります。

## 映像配信

2026年3月4日  
福山市議会本会議一般質問

(2026年3月現在、議事録は公開されておられません。)



## 議事録

## 映像配信

2025年12月8日  
福山市議会本会議一般質問

福山市議会の傍聴は誰でも参加可能！  
当然ながら「費用」も「身分証」も不要です。  
お気軽にご来場ください！

福山市議会映像配信

🔍 検索

## 全国都市問題会議 宇都宮

2025年10月9日・10日、全国都市問題会議 in 宇都宮に参加しました。人口減少は衰退ではなく、成熟社会への入口であり、新しい社会を設計するチャンスだと学びました。一極集中より地方分散が持続可能で、地方の「余白」は当事者意識と創造を生む力になる。LRT（次世代型路面電車）を軸に市民理解を積み重ねた宇都宮の挑戦には刺激をいただきました。



## 静岡県伊東市の伊東市議会選挙現地レポート

大きく注目された伊東市議会議員選挙の初日に現地取材へ。田久保市長の学歴詐称疑惑を発端とする今回の選挙について、あさだ良弘候補、杉本一彦候補、うめだかずえ候補にインタビューを実施。争点や市民の声、政治姿勢を率直に伺っています。選挙のリアルを、ぜひYouTubeチャンネルをご覧ください。



動画はこちらから  
ご覧いただけます▶



## 第10回投票酒場シンポジオン チャンピオン大会開催



2024年5月から始めた投票酒場シンポジオンは、第10回チャンピオン大会をもって一区切りを迎えました。政治や社会のルールを「面白く、そして真面目に」語り合う場として、多くの登壇者・観覧者に支えられ、回を重ねるごとに新たなつながりが生まれました。第2シーズンは2026年5月27日より再開予定です。

## 若手議員の会 福山市部開催

2025年11月6日・7日の2日間、中国若手議員の会広島県理事として福山市での議員研修受け入れを担当しました。同会は中国地方5県で39歳までに当選した議員が所属し、立場を越えて学び合う組織です。不登校対策やPark-PFI(民間が公園に店舗などを整備し魅力向上と収益を両立する仕組み)等を通じ、外の視点から福山市の取組と魅力を再認識する機会となりました。



## 主権者教育出前授業



2025年10月29日と12月10日の2度、大学生の仲間とともに、おおぞら高校にて主権者教育の出前授業を実施しました。宿題やSNS規制、投票の義務化を題材に、社会のルールが暮らしに与える影響を議論。特に12月10日はオーストラリアで16歳未満のSNS利用規制が始まった日でもあり、現実社会と結び付けた学びとなりました。

## 北九州市立大学 同窓会 福山支部にて市政報告会

2025年11月15日、北九州市立大学同窓会福山支部の総会・懇親会に参加しました。新年度より新たに支部役員として参画することとなり、身の引き締まる思いです。講演会では市政報告会をさせていただく機会をいただき、北九大の学生時代や政治を志した原点、市議会での活動を紹介させていただきました。



## 編集後記

この度、人生二度目の議会レポートとなりました。二年目の議会活動の一年間を振り返ると、新人一年目だった昨年に比べ、計画的かつ効率的に準備をし、議会や委員会に臨んだり、市民の皆様からも多数の反響をいただくなど、手応えを感じる場面が増えた一方で、なお力不足や知識不足を痛感することも少なくありませんでした。市民の皆様への想いや未来を託していただく立場として、考え、動き、言葉にし、議会やさまざまな場で伝えてきた時間は、私自身にとって確かな財産です。政治を少しでも身近に感じていただければ幸いです。これからも懸命に動き続けます。今後の歩みにも、ぜひ目を向けていただければ幸いです。



大和くん

ホームページ

## 貝原 大和 (かいはら やまと)

1986年(昭和61年)8月に福山市横尾町で生まれた39歳。千田小学校、幸千中学校、誠之館高等学校、北九州市立大学を卒業。2009年に株式会社ベンチャーバンク(東京都)へ就職し、その3年後(25歳)に起業独立し、現在15年目。地元福山にて活動したいという想いから、2017年に会社ごと帰福。2024年4月7日の福山市議会議員選挙にて初当選させていただきました。



(主な肩書き)

福山市議会議員 / 合同会社 StrAction 代表社員兼 CEO / 株式会社 MeaningFull 代表取締役社長  
福山駅前商店会 副会長 / 投票酒場シンポジオン代表 / 福山サンタ代表 / 一般社団法人 福山青年会議所

〒720-0066 広島県三之丸町8-9 2階  
080-4261-0428 (事務所携帯)  
kaihara@genkiup.asia